GROHE
Kitchen

Pure Freude an Wasser

浄水器専用単水栓据付説明書
（お客様にお渡しください）

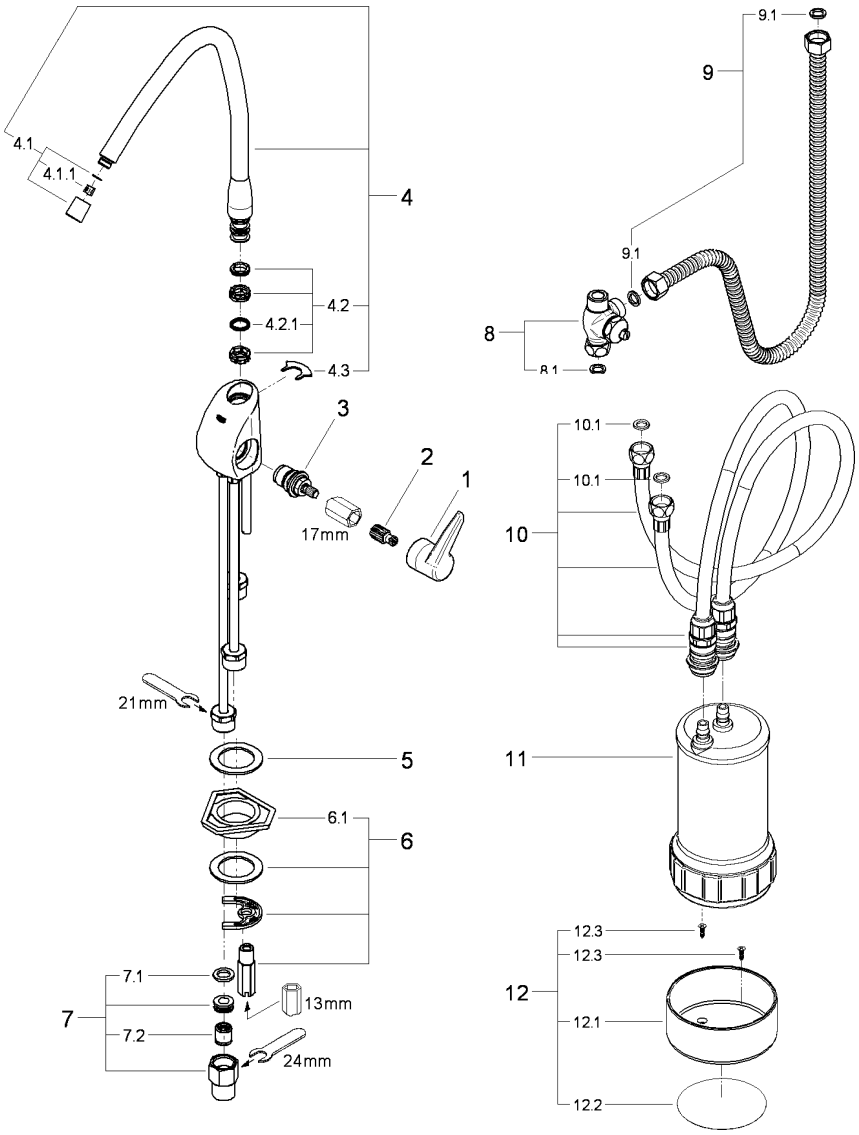
据付業者さまへのお願い

□製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

□この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

□据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分　解　図



図番	名称
1	ハンドル
2	インサート
3	セラミックヘッドパーツ
4	吐水口
4.1	エアレーター(マウザー)
4.1.1	整流板
4.2	Oリングセット
4.2.1	Oリング
4.3	クリップ
5	スポンジパッキン
6	締付セット
6.1	固定板
7	逆止弁
7.1	1/2 パッキン
7.2	逆止弁φ15
8	分岐止水栓 1/2
8.1	1/2 ゴムパッキン
9	フレキ管 1/2
9.1	1/2 シートパッキン
10	浄水器接続ホース
10.1	1/2 ゴムパッキン
11	浄水カートリッジ
12	カートリッジ受皿セット
12.1	カートリッジ受皿
12.2	両面テープ
12.3	止ビス

※カウンター穴あけ寸法はφ34～φ40で行ってください。
カウンター厚 60㎜ 以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

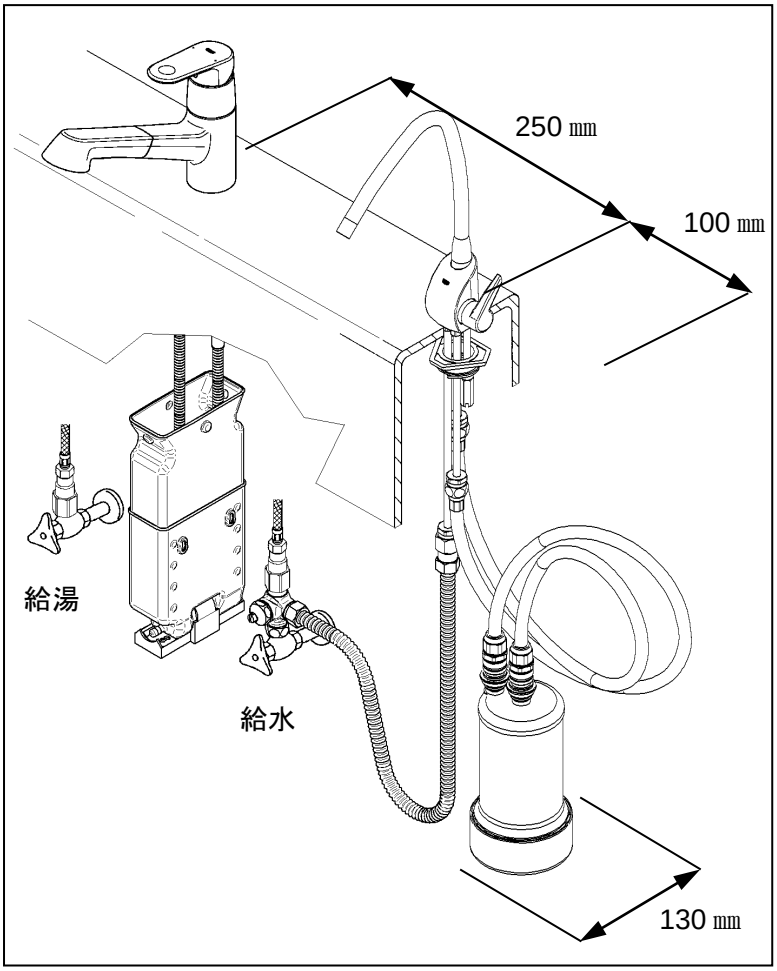
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

浄水カートリッジの入口、出口は逆に接続しないでください。 ※浄水になりません。また、活性炭（黒い水）が出る恐れがあります。
凍結の恐れのある場所には設置しないでください。 ※破損、水漏れの恐れがあります。
据付完了後は、配管接続部分及び水栓から水漏れのないこと確認してください。 ※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
給水は水質基準に適合した上水道に接続してください。 ※体調を損なうおそれがあります。
浄水カートリッジは給水用です。給湯配管には絶対に接続しないでください。 ※変形、破損による水漏れや、やけどの恐れがあります。
給水圧力が 0.35Mpa(3.5kgf/C ㎡)を超える場合は、減圧弁で減圧してください。 ※変形、破損による水漏れの恐れがあります。

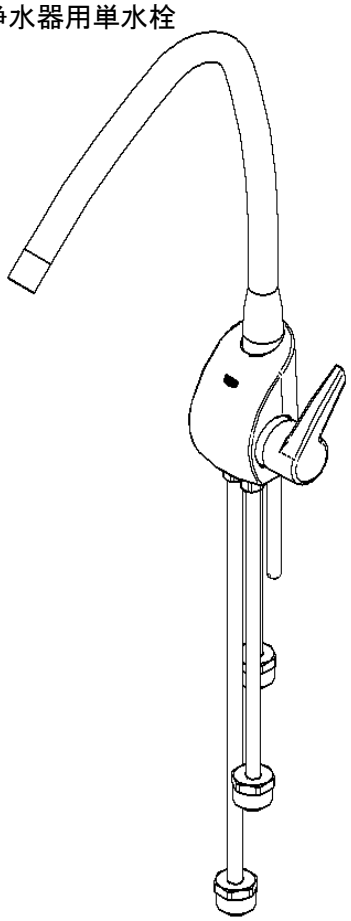
使用条件

- 給水圧力
  ◇給水圧力が 0.35Mpa(3.5kgf/C ㎡)を超える場合は、減圧弁で減圧してください。
  0.2Mpa(2.0kgf/C ㎡)程度が適当です。
- 給湯には接続しないでください。
- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。
- 浄水カートリッジの交換、水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。
- 混合水栓の左右約に 250 ㎜程度で他に障害物がなく、内部に浄水カートリッジが設置できる位置を選んでください。
- 水受容器がある場合は、混合水栓の給水側に取り付けてください。フレキ管が水受容器に干渉して接続できない場合が考えられます。

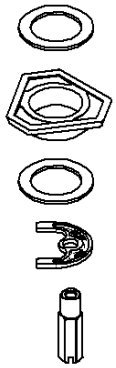


同梱部品（ご使用の浄水器メーカーにより仕様、形状が違います）

浄水器用単水栓



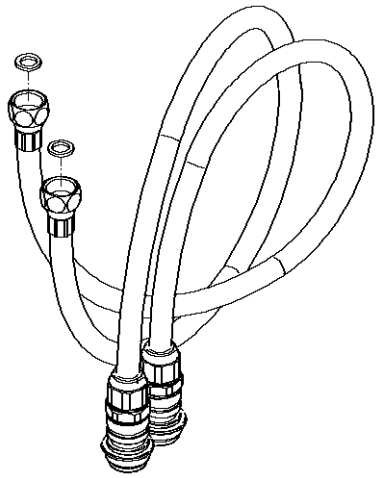
締付セット



浄水器入口ホース

浄水器出口ホース

（パッキン２個付）



逆止弁

（パッキン１個付）

止水機構付分岐栓

（パッキン１個付）

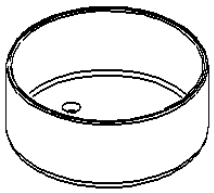
バイパス管

※無色透明

フレキ管

（パッキン２個付）

カートリッジ受皿

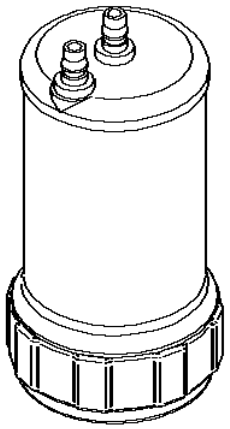


両面テープ

止ビス

浄水カートリッジ

※品番 HUC17021



取扱説明書

※単水栓保証書付

施工説明書

バイパス管
説明書

お知らせ
コールカード
（返信はがき）

※清水器保証書付

据付前の注意

- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。
  ※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 配管接続部を隠ぺいしないでください。水切棚に取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。
- 給水管緩み防止の為、給水配管は動かないように確実に固定してください。
- 逆止弁（接続）アダプターの接続ねじは平行ねじG1／2です。テーパねじ（TP1／2、R1／2）には使用しないでください。また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。
- 配管工事は、建築基準法、水道法、各都市の条例・規定に準じて行なってください。
- 浄水器がクリンスイでない場合は、ご使用する浄水器の据付説明書をご覧ください。

据付手順

１．単水栓本体の準備（図１参照）

①カウンター上部に取付穴を開けてください。
②本体付属部品を収納している小袋から、水漏れ防止用パッキンを取り出し、取り付けてください。
③本体をカウンター上部から取付穴に挿入してください。給水管、浄水器接続管のニップルを同時に取付穴へ差し込もうとするとニップルがぶつかり入りませんので、給水管のニップルを差し込んだあと本体を少しずらし浄水器接続管を挿入してください。
④本体をカウンター上部から取り付け穴に挿入します。給水・給湯管が正面に向くように図１の通りセットしカウンターうらからゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付けてください
※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。又、取付穴が本体の中心にくるように挿入してください
※給水管、浄水器接続管がつぶれないよう注意してください。

２．単水栓の固定（図２参照）

①本体を正面にセットし、カウンターうらから三角固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーを挿入し、締付ナットを工具（１３㎜スパナ）等で締め付けてください。
②本体を固定する際、取付穴が本体の中心にくるように取り付けてください。又、取付穴に給水管、浄水器接続管が接触していないことを確認してください。
※三角固定板、ゴム製平パッキンと馬蹄形ワッシャーがきちんと重なっていること。又、本体水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。水栓を固定する際、取付穴が水栓本体の中心にくるように取り付けてください。
※馬蹄形ワッシャーには上下があります。縁どりしてある平らな面が上になります
※本体が確実に固定されていることを確認してください。吐水口の回転がスムーズであることを確認し、吐水口を回した時に本体が動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。再度締め付けても動く場合は、ゴム製平パッキンは使用しないで締め付けてみてください。
※固定には別売（市販品）のソケットレンチ等を使用して確実に締め付けてください。

図１

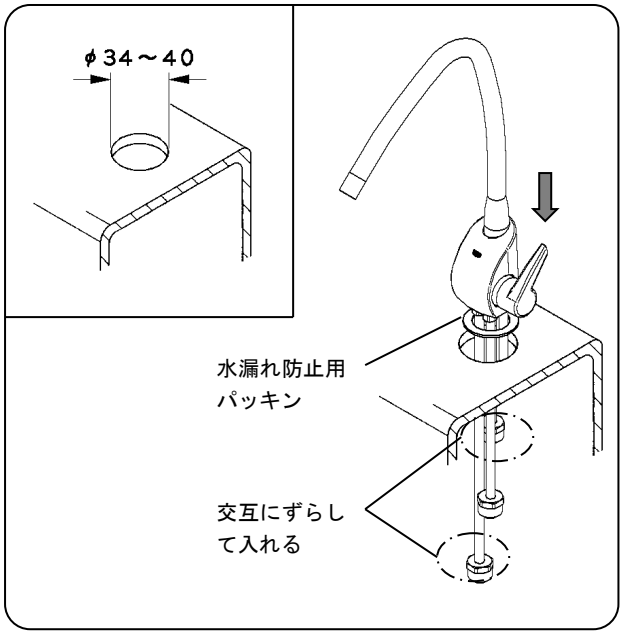
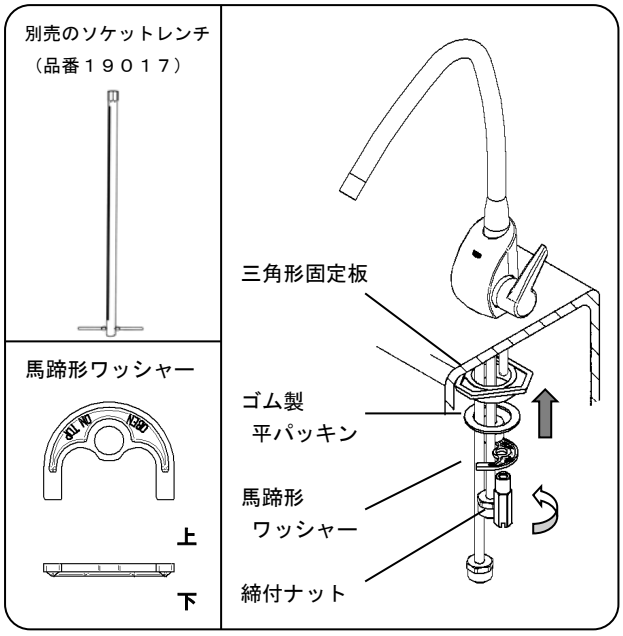


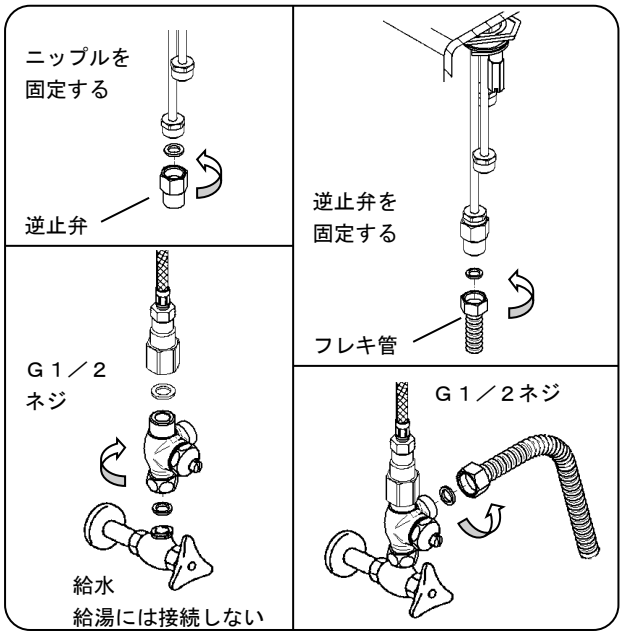
図２



３．逆止弁、フレキ管、分岐栓の接続（図３参照）

①同梱の逆止弁を給水管のニップルにネジ込み確実に固定してください。
②付属のフレキ管を逆止弁に接続してください。
③別途、混合栓をご使用の場合は、給水から付属の分岐栓を取り付けて、分岐してください。
④給水または分岐栓に付属のフレキ管を接続してください。
※締付は、200～300kgf･cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。
※給水管が折れないように注意してください。給水管を曲げ半径（６０㎜）よりも小さく曲げて使用しますと、給水管が折れることがあり、折れた部分から早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径（６０㎜）よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
※水栓本体端面から極端に給水管を屈曲して、施工しないでください。
※分岐栓は必ず給水から分岐し、給湯からの接続は絶対に行なわないでください。

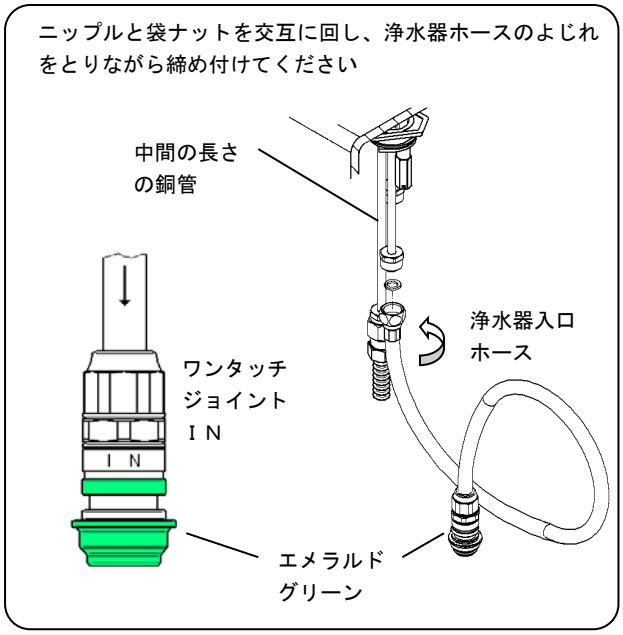
図３



４．浄水器入口ホースの取り付け（図４参照）

①ワンタッチジョイントのスライドリングの色（エメラルドグリーン）を確認してください。
②中間の長さの銅管のニップルに、浄水器入口ホースの袋ナットを接続してください。
③浄水器接続ホースはよじれがないよう、ニップルと袋ナットを交互に回し、締め付けてください。
④浄水器接続ホースにたるみを作る場合は、曲げ半径６０㎜以上にし、折れないよう接続してください。
※銅管の矢印と浄水器接続ホースの矢印を合わせてください。
※銅管が折れないように注意してください。
※浄水器接続ホースは折れないよう注意してください。最小曲げ半径（６０㎜）よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、水量が少なくなる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径（６０㎜）よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

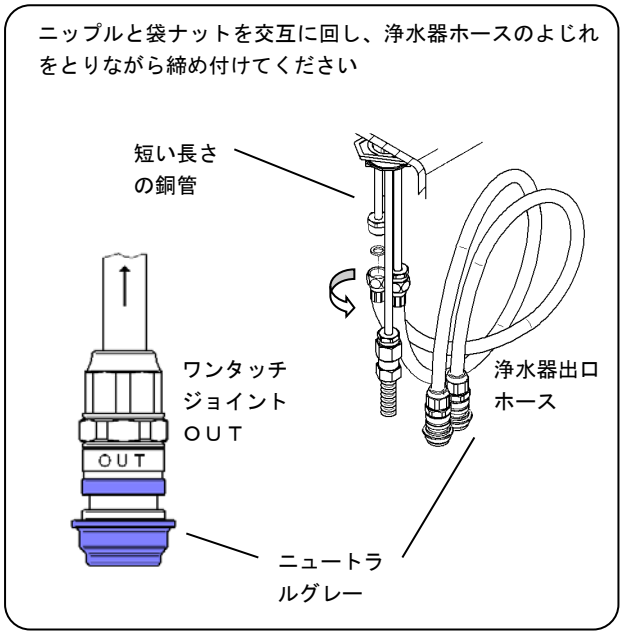
図４



５．浄水器出口ホースの取り付け（図５参照）

①ワンタッチジョイントのスライドリングの色（ニュートラルグレー）を確認してください。
②短い長さの銅管のニップルに、浄水器出口ホースの袋ナットを接続してください。
③浄水器接続ホースはよじれがないよう、ニップルと袋ナットを交互に回し、締め付けてください。
④浄水器接続ホースにたるみを作る場合は、曲げ半径６０㎜以上にし、折れないよう接続してください。
※銅管の矢印と浄水器接続ホースの矢印を合わせてください。
※銅管が折れないように注意してください。
※浄水器接続ホースは折れないよう注意してください。最小曲げ半径（６０㎜）よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、水量が少なくなる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径（６０㎜）よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

図５

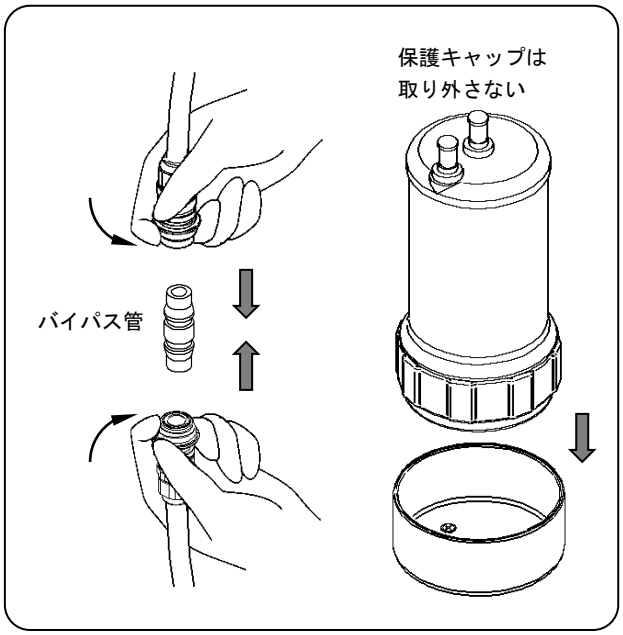


浄水器を使用するまで期間があく場合

６．バイパス管の取り付け（図６参照）

①浄水器入口ホースワンタッチジョイントのスライドリングを手で上にあげ、パイパス管に差し込んでください。
②同様に、浄水器出口ホースワンタッチジョイントのスライドリングを手で上にあげ、パイパス管に差し込んでください。
③浄水カートリッジは保護キャップを取り付けたまま、受皿に差し込んでください。
※浄水カートリッジは長期間に渡って水を滞留させますと、衛生上好ましくない状態になります。
※一ヶ月以上使用しない恐れがある場合は、必ずパイパス管を使用してください。

図６

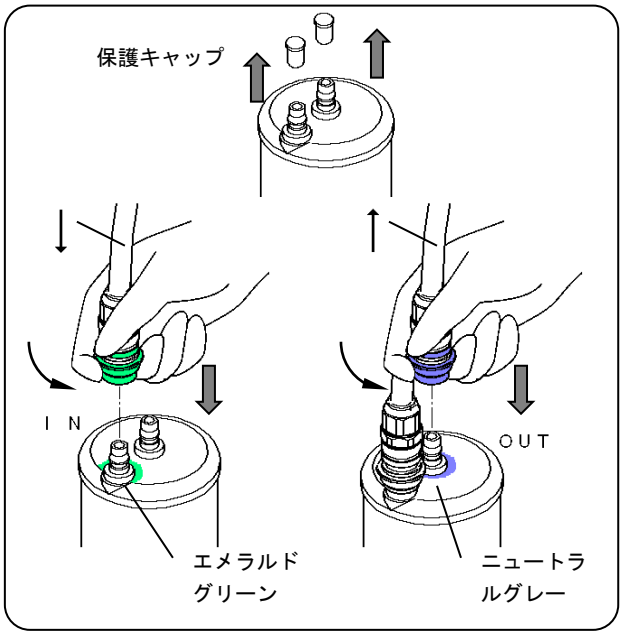


浄水器をすぐ使用する場合

７．浄水カートリッジの取り付け（図７参照）

①浄水カートリッジの入口、出口に差し込んである保護キャップを取り外してください。
②浄水器入口ホースワンタッチジョイント（エメラルドグリーン）のスライドリングを手で上にあげ、浄水カートリッジに入口（IN エメラルドグリーン）に差し込んでください。
③浄水器出口ホースワンタッチジョイント（ニュートラルグレー）のスライドリングを手で上にあげ、浄水カートリッジに出口（OUT ニュートラルグレー）に差し込んでください。
※ワンタッチジョイントのスライドリングの色と浄水カートリッジの色を合わせてください。
※浄水器接続ホースによじれがないのを確認してください。よじれがある場合は、ワンタッチジョイントを一度取り外し、よじれを修正して、再度差し込んでください。
※浄水器接続ホースは給湯の配管に接触しないようにしてください。熱が伝わり早期破壊を生じる可能性があります。

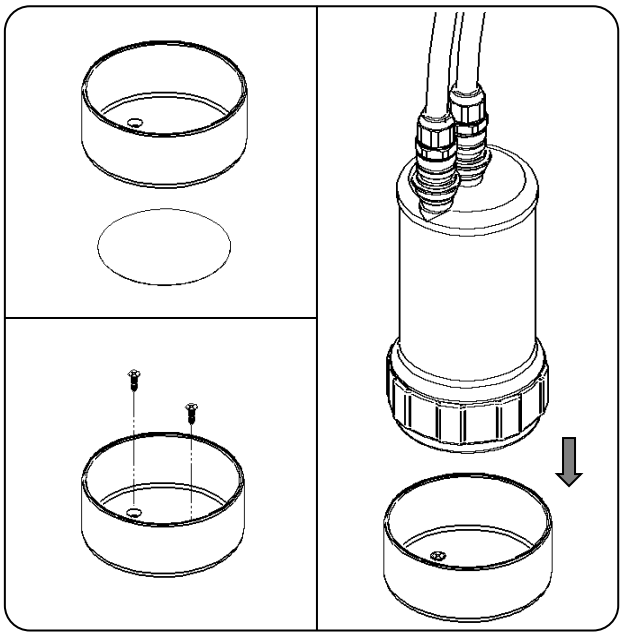
図７



８．受皿の取り付け（図８参照）

①浄水カートリッジは固定のため、受皿を使用して取り付けてください。
②両面テープを利用して、浄水器接続ホースによじれや折れができない位置に受皿を設置してください。
③受皿がぐらつく場合は、付属の止ビスで固定してください。
※浄水カートリッジの設置場所は、お客さまと相談の上、交換が容易な位置にしてください。約一年毎の交換が目安になります。

図８



取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

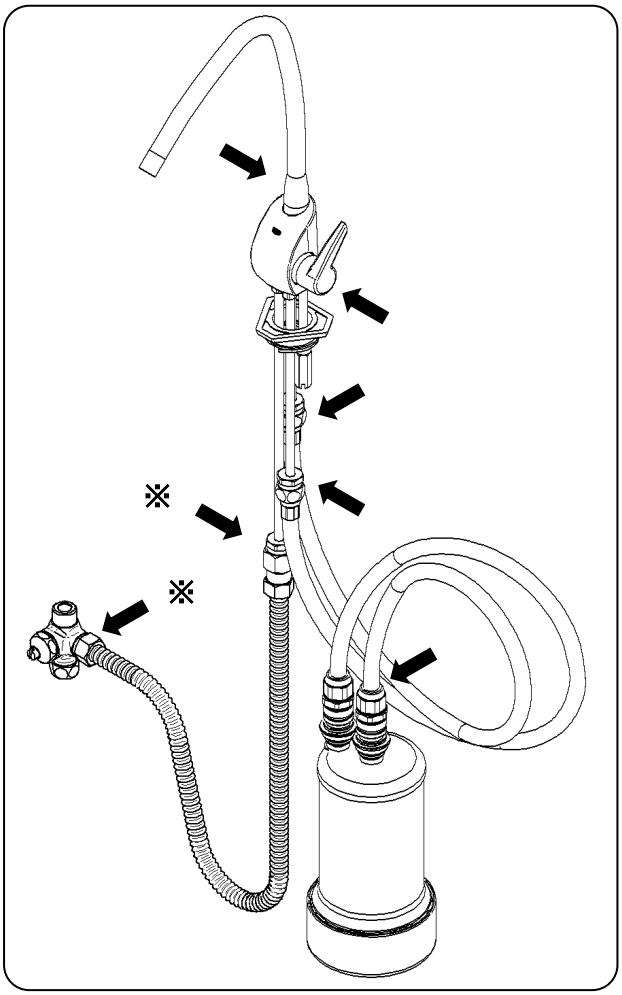
１．接続部の水漏れ（図９参照）

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

●止水栓とフレキ管の接続部。
●フレキ管と逆止弁の接続部。
●逆止弁と給水管の接続部。
●給水管と本体の接続部。
●本体とハンドルの接続部。
●本体と水浄水器接続ホースの接続部。
●水浄水器接続ホースと浄水カートリッジの接続部
●本体と吐水口の接続部。

※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

図９

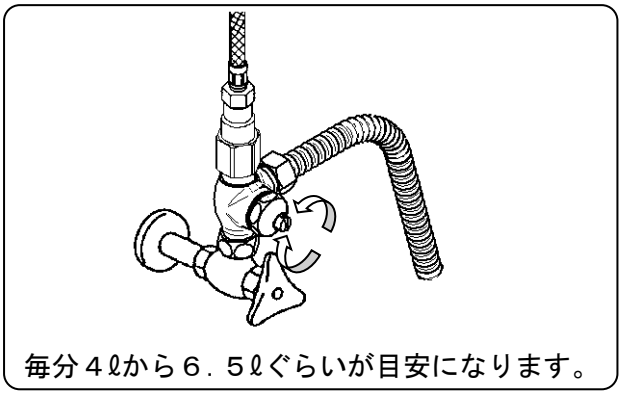


２．水量の調節（図 10 参照）

お使いいただく現場で、適量が得られ、水はねなど最小になるよう、止水栓で調節します。

※給水圧力が 0.35Mpa を超える場合は、減圧弁で 0.1Mpa～0.2Mpa 程度に減圧してください。または、止水栓を締め込んで水の量を適量に調整してください。

図 10



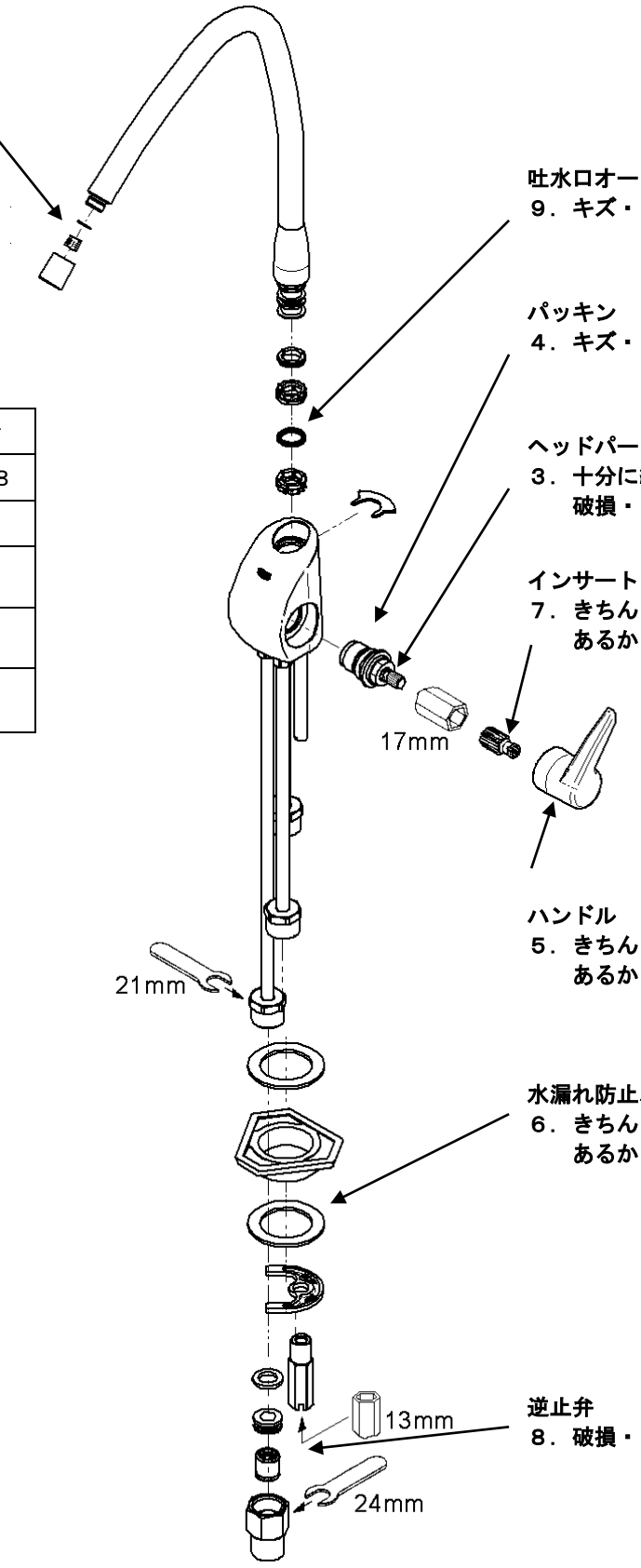
毎分４ℓから６．５ℓぐらいが目安になります。

お客さまへのご説明

●浄水能力の説明。－「浄水器の取扱説明書」の仕様をご覧ください。
●水量の説明。－「据付説明書」の水量の調整をご覧ください。
●浄水カートリッジの設置場所。－「浄水器の据付説明書」の取り付けをご覧ください。
●浄水カートリッジの交換方法。－「浄水器の取扱説明書」の浄水カートリッジの交換方法をご覧ください。
※　上記以外でも、「取扱説明書」に従って取り扱い方法をお客さまに説明してください。

故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。



現象	点検箇所
吐水量が少ない	１．２．８
水が止まらない	３．４
ハンドルがガタつく	５．７
カウンター内に漏水する	６
吐水口より漏水する	９

水栓部についてのお問い合わせ
グローエサービスセンター
０５７０－６６６－３６８

浄水カートリッジ部についてのお問い合わせ
クリンスイサービスセンターＵ係
０１２０－３２８－４３２
または、ご使用の浄水器メーカーにお問い合わせください。